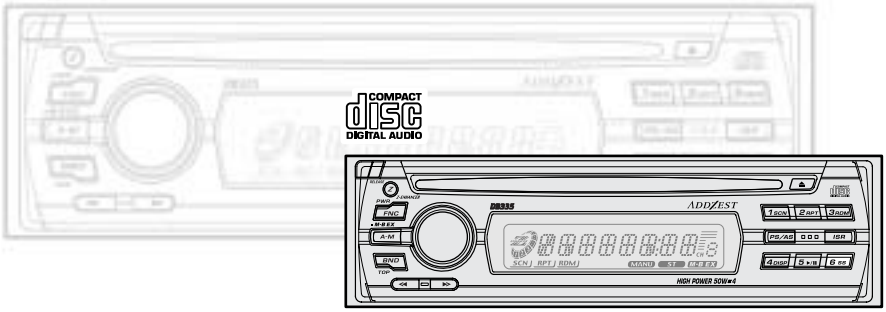
ADDZEST

CDセンターユニット

DB335/DB335S

取扱説明書



このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

- 安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる場所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。
- 保証書（別添）はお買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

目 次

はじめに

主な特長 3
ご使用の前に 4
安全に正しくお使いいただくために 4
安全上のご注意 5
取扱上のご注意 7
本体のお手入れについて 7
液晶画面について 7
エラー表示について 7
CDの演奏について 8
CDについて 8
DCPの取り外しかた 9
DCPの取り付けかた 9

本機の操作

■各部の名称とはたらき

本体部 10

■基本の操作

電源を入れる 12
音量を調節する 12
モードを選ぶ 13
時計表示に切り換える 13
時刻を合わせる 13
音質を簡単に設定する(Z-エンハンサー機能) 14
音質を調整する 14
低音を増強する(マグナ・ベースEX機能) 15
バランス/フェダーを調整する 15
スクリーンセーバー機能に切り換える 15

■ラジオを聴く

ラジオモードを選ぶ 16
受信バンドを切り換える 16
手動選局する(マニュアル選局) 16
プリセット選局する 16
自動選局する(シーク選局) 17
プリセットメモリーする 17
自動メモリーする(オートストア機能) 17
放送局を確かめる(プリセットスキャン) 18
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能) 18

■CDを聴く

CDを入れる 19
CDを取り出す 19
すでに入っているCDを聴く 20
演奏を止める(一時停止) 20
次の曲/前の曲を選ぶ 20

早送り/早戻しする 20
最初の曲から聴く(トップ機能) 21
スキャン演奏する 21
リピート演奏する 21
ランダム演奏する 21

その他

故障と思われる前に 22
エラー表示について 22
仕 様 23
アフターサービスについて 24

主な特長

■ 高出力50W×4ch内蔵アンプ

■ 操作性のよい回転ボリューム

■ DCP(Detachable Control Panel)機構のフロントパネル

• アルミ材を使用した高級感あふれるフロントパネルにDCP機構を採用

■ 透き通った深みのある青色ディスプレイ

• 宇宙空間から見た地球を思わせる青色に光るディスプレイ

■ CD-R/RWで記録されたディスクを再生

■ 音質重視のデジタルサウンド

• 8倍オーバーサンプリング･デジタルフィルターとデュアル1ビットDACにより、クリアなデジタルサウンド

■ Z-エンハンサー機能

• 3種類の音質効果メモリーを備え、お好みの音質を即座に設定

■ マグナ･ベース EX

• 超低音域をブーストし再生する、新ラウドネス機能

■ ラジオ部

•プリセットが簡単なオートストア機能で、FM12局、AM12局をメモリー
• メモリーした放送局を順番に受信するプリセットスキャン機能

■ CDデッキ部

• 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
• 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能
• 全曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能

■ ディマー機能

• 視認性を考慮して、夜間はLCD照明を減光

■ パワーアンテナにも対応

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警 告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注 意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中には具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

❗ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

●安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●お読みになったあとはいつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

安全上のご注意

■使用上のご注意

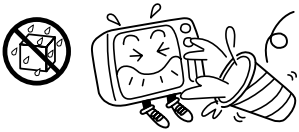
⚠ 警 告

●走行中は運転者による操作をしない・・・
運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

●本機を分解したり、改造しない・・・
事故や火災、感電の原因となります。

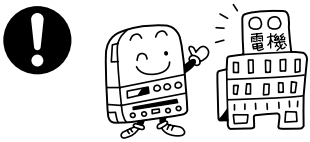
●ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない・・・
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談してください。

●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談する・・・
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。



●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する・・・
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

●本機の取り付け及び取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する・・・
専門技術と経験が必要です。



安全上のご注意

■使用上のご注意(つづき)

⚠ 注 意

●運転中の音量は、車外の音が聴こえる程度で使用する・・・

車外の音が聴こえない状態で運転すると、事故の原因となる事があります。

●ディスク挿入口に手や指を入れない・・・

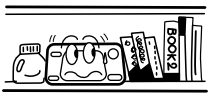
ケガの原因となることがあります。

●ディスク挿入口に異物を入れない・・・

火災や感電の原因となることがあります。

●本機を車載用以外には使用しない・・・

感電やケガの原因となることがあります。

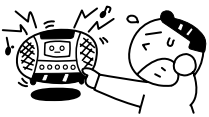


●樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない・・・

部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。

●電源を切るときは、音量を最小にする・・・

電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



取扱上のご注意

本体のお手入れについて

●本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。

⚠注意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障し、火災などの原因となることがあります。

自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

液晶画面について

●非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

●液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。
常温に戻れば回復します。

エラー表示について

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。エラー表示はセンターユニットのディスプレイに表示されます。ディスプレイにエラーが表示されたときには、センターユニットの取扱説明書「エラー表示について」(22ページ)を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

取扱上のご注意

CDの演奏について

●車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。
CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

●本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。

●CDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。

●8cmシングルCDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

●本機のディスプレイ部（アクリル部品）の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

⚠警告

本機を分解したり改造したりしないでください。事故や火災、感電の原因となります。

CDについて

COMPACT disc DIGITAL AUDIOマークのついたCDをご使用ください。

●ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

●CD-R/CD-RWで記録されたディスクは、使用できない場合があります。

■取扱上のご注意

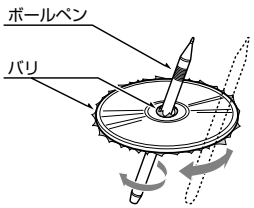
●CD-R/CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高音多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間放置しないようにしてください。

●レーベル面（印刷面）に文字などを記入しないでください。

●セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

●ディスク面に、傷や指紋をつけないように扱ってください。

●新しいCDには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなCDをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。CDにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



●CDの中には中心の穴が変形している不良品もあります。変形していないか確認のうえご使用ください。

■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

●直射日光の当たる場所

●湿気やホコリの多い場所

●暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

●汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。

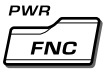
●従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

DCPの取り外しかた

DCP(Detachable control panel)について…

このコントロールパネルは盗難防止用に取り外すことができます。
車から離れるときは、DCPをお持ちになることをおすすめします。

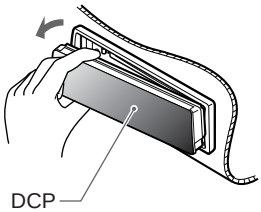
1 ファンクションボタンを押し続けて(約1秒間)、電源を切る



2 リリースボタンを深く押す

→DCPの左端が本体から外れます。

3 DCPを手前に取り外す

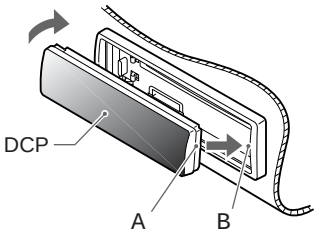


⚠注 意

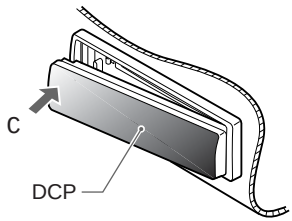
- 運転中にDCPの脱着操作をしないでください。
- DCPを取り外す前に、必ず操作パネルを閉じてください。操作パネルが開いた状態でDCPを取り外すとスロープ機構部が閉じますので指や手などを挟まないようご注意してください。
- DCPは衝撃に弱いです。取り外した後は、DCPケースに入れることをおすすめします。また、落としたり強い衝撃を与えると故障の原因となりますのでご注意ください。

DCPの取り付けかた

1 DCPの右側のA部を、本機のツメB部に差し込む



2 DCPの左端C部を、カチッと音がするまで押す



⚠注 意

- DCPがロックされていない状態で走行すると振動により落下する恐れがありますので、本機に確実に取り付けてください。
- 本機とDCPを接続しているコネクターは大変重要な部分です。爪やドライバー等で押してキズをつけないように、注意してください。

ご注意

DCPが汚れている場合、乾いた柔らかい布で拭いてください。

各部の名称とはたらき

本体部

RELEASE
リリースボタン
•DCPを取り外すときに使用します。

Z-ENHANCER
Z-エンハンサーボタン
•音質を3段階に切り換えます。

PWR
FNC
ファンクションボタン
•電源を入れ、ラジオモード等を切り換えます。押し続ける(約1秒間)と、電源が切れます。

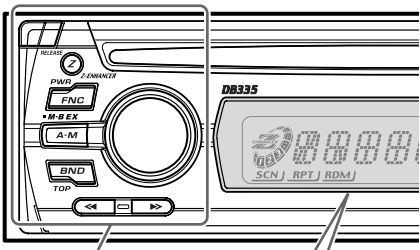
M-B EX
A-M
オーディオモードボタン
•音質やバランス、フェダーの調整モードに切り換えます。
•押し続ける(約2秒間)と、マグナ·ベースEXがON/OFFします。

BND
TOP
バンドボタン
•CDモード時に、最初の曲を演奏します。(トップ機能)
•ラジオモード時は、バンドの切り換えを行います。また、押し続けると自動/手動選局を切り換えます。

ロータリーボリューム
•時計方向または反時計方向に回して、音量を調整します。
•音質/バランス/フェダーの調整に使います。

サーチアップボタン
•ラジオモード時は選局、CDを聴くときには、選曲します。
•各種設定時にも使用します。

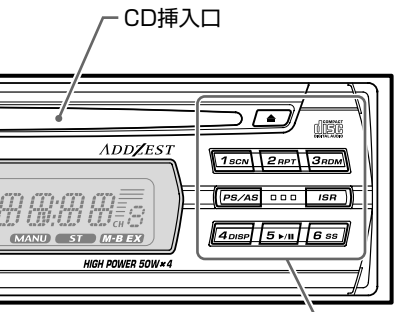
サーチダウンボタン
•ラジオモード時は選局、CDを聴くときには、選曲します。
•各種設定時にも使用します。

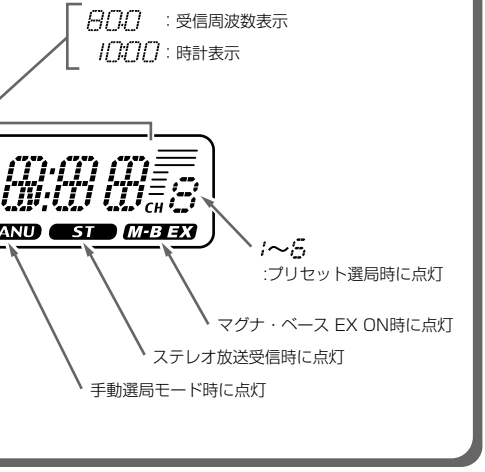


ディスプレイ部

Z-エンハンサー設定時に点灯

SCN :スキャン演奏時に点灯(CDモード時)
RPT :リピート演奏時に点灯(CDモード時)
RDM :ランダム演奏時に点灯(CDモード時)





イジェクトボタン
- CDが入っているときに押すと、CDがイジェクトされます。

1 SCN ～ 6 SS ダイレクトボタン(1～6)
- ラジオモード時に、放送局のメモリーや、直接呼び出しをします。

1 SCN スキャンボタン
- CDモード時に、10秒間ずつスキャン演奏します。

2 RPT リピートボタン
- CDモード時に、繰り返し演奏します。

3 RDM ランダムボタン
- CDモード時に、ランダム演奏をします。

PS/AS プリセットスキャンボタン
- ラジオモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。

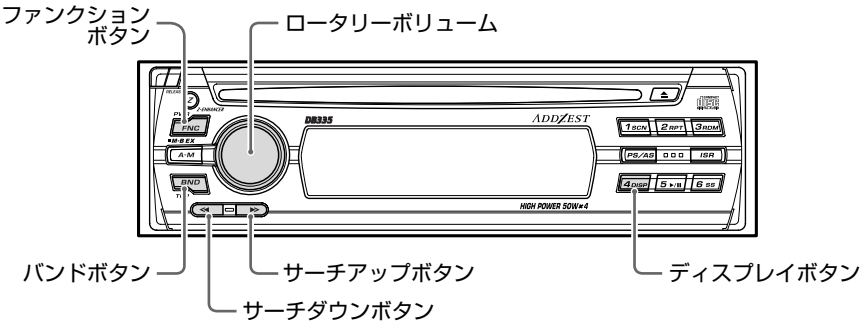
ISR ISRボタン
- 現在のモードにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼び出します。(ISR機能)

5 ▶/II プレイ/ポーズボタン
- CDモード時に、演奏/一時停止します。

BND TOP + 6 SS スクリーンセーバーボタン
- バンドボタンを押しながらスクリーンセーバー(SS)ボタンを押すと、スクリーンセーバー機能をON/OFFします。

BND TOP + 4 DISP ディスプレイボタン
- バンドボタンを押しながらディスプレイボタンを押すと、周波数表示または演奏状態表示を時計表示に切り換えます。
- 時計表示状態で、バンドボタンを押しながらディスプレイボタンを押し続ける(約2秒間)と、時計調整モードになります。

基本の操作



⚠警 告

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてください。また、走行中にピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしないでください。

ご注意

本機のコントロールパネルは盗難防止用に取り外すことができる構造になっています。
※*DCP(Detachable control panel)*
本機を操作するときは、必ずコントロールパネル(DCP)を取り付けてご使用ください。
(「DCPの取り付けかた」(9ページ)を参照)

電源を入れる

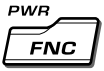
1 エンジンをかける(ACCまたはエンジンONの位置にする)

→時計表示になります。

ご注意

バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、できるだけエンジンをかけた状態で行ってください。
•時刻の設定は、「時刻を合わせる」(次ページ)をご覧ください。

2 ファンクションボタンを押す



→前回の電源を切ったときのモードで電源が入ります。

■電源を切るには…

ファンクションボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

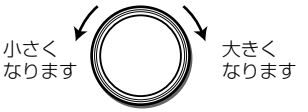
→電源が切れ、時計表示になります。

ご注意

音量が大きいときは、小さくしてから電源を切ってください。

音量を調節する

1 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回す



→ディスプレイに調整音量値(「VOL: 15」等)を表示します。

•音量調整範囲は、0〜33です。

⚠注 意

運転中は車外の音が聴こえる程度の音量にしてください。

モードを選ぶ

1 ファンクションボタンを押して、モードを選ぶ

PWR
FNC

→ファンクションボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

ラジオモード ⟷ CDモード

• CDが入っていないときには、「no DISC」が点灯します。

時計表示に切り換える

1 バンドボタンを押しながらディスプレイボタンを押す

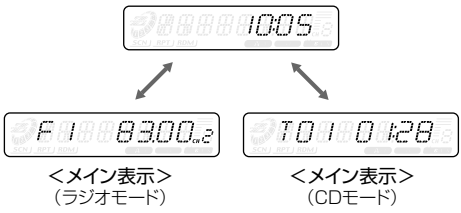
BND TOP + 4 DISP

→押すたびに、次のように切り換わります。

メイン表示 → 時計表示

●時計表示の場合

<時計表示>



<メイン表示>
（ラジオモード）

<メイン表示>
（CDモード）

• 時計表示のときは、ラジオの選局やCDの選曲等のボタン操作時に、受信周波数やトラックNo.等を表示した後、元の時計表示に戻ります。

時刻を合わせる

時計表示について…

車のエンジン作動時（ACC ON時）に時計を表示します。

ご注意

時計を合わせるときは、必ず「時計表示」にしてから操作を始めてください。「メイン表示」のときは、調整できません。

1 バンドボタンを押しながらディスプレイボタンを押して、時計表示にする

BND TOP + 4 DISP

2 バンドボタンを押しながらディスプレイボタンを押し続ける(約2秒間)

BND TOP + 4 DISP

→時計表示が点滅し、時計調整モードになります。

3 サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押して時刻を合わせる

<時のセット>　<分のセット>

◀◀　▶▶

→サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押すたびに、時または分が進みます。

• 時計は12時間表示で、午前午後の表示はありません。

4 バンドボタンを押す

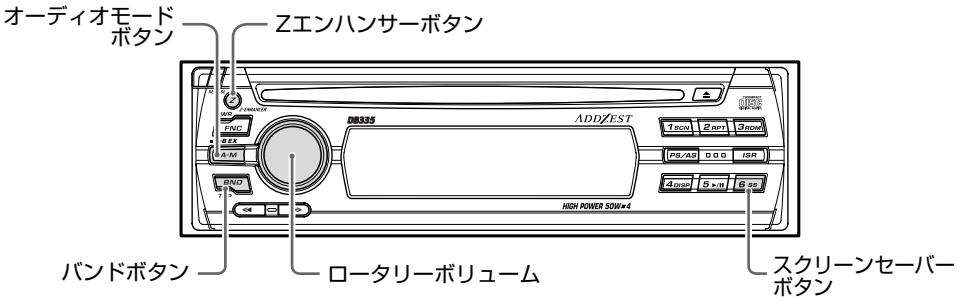
BND TOP

→時刻が設定されます。

ご注意

• 電源がOFFの状態では、時計表示になっていても時刻調整をすることはできません。
• 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻調整は解除されます。
• 点検や修理などでバッテリーをはずすと、時計も止まります。もう一度時刻合わせをしてください。

基本の操作



音質を簡単に設定する (Z-エンハンサー機能)

Z-エンハンサー機能について…

本機は、3種類の音質効果をメモリーしてあります。お好みの音質を設定してお楽しみください。

- Z-エンハンサー1：低音を重視したサウンド
- Z-エンハンサー2：高音を重視したサウンド
- Z-エンハンサー3：低音と高音を重視したサウンド

※初期設定は「OFF」です。

1 Z-エンハンサーボタンを押す

Z-ENHANCER

→「 」が点灯します。

2 Z-エンハンサーボタンを押して、お好みの音質を選ぶ

Z-ENHANCER

→Z-エンハンサーボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

Z-エンハンサー1 → Z-エンハンサー2 → Z-エンハンサー3 → Z-エンハンサーOFF → Z-エンハンサー1

音質を調整する

- Z-エンハンサー機能がOFFの時調整できます。
- 初期設定は、「0」です。

1 オーディオモードボタンを押して、音質調整(「BASS」または「TREB」)を選ぶ

A-M

→ディスプレイに「 BASS 」または「 TREB 」を表示します。

オーディオモードボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

低音部調整(BASS) → 高音部調整(TREB) → 左右スピーカーの調整(BAL) → 前後スピーカーの調整(FAD) → 元のモード → 低音部調整(BASS)

2 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して調整する

減衰されます　強調されます

•調整範囲は、−7〜+7です。

3 オーディオモードボタンを押して、元のモードに戻る

A-M

■低音を増強する(マグナ・ベースEX機能)

オーディオモードボタンを2秒以上押す

→MAGNA BASS(マグナ・ベースEX)がONになり低音が増強されます。

■マグナ・ベースEX機能を解除するには…

もう一度、同じ操作をしてください。

バランス/フェダーを調整する

・初期設定は、「0」です。

1 オーディオモードボタンを押して、バランス(BAL) またはフェダー(FAD)を選ぶ

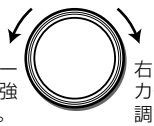
→ディスプレイに「 BAL 」または「 FAD 」を表示します。

オーディオモードボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

低音部調整(BASS)
↓
高音部調整(TREB)
↓
左右スピーカーの調整(BAL)
↓
前後スピーカーの調整(FAD)
↓
元のモード

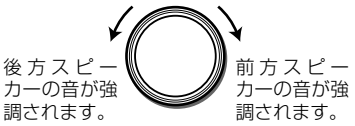
2 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して調整する

●左右スピーカーの調整(BAL)



・調整範囲は、L13(L 13)～R13(R 13)です。

●前後スピーカーの調整(FAD)



・調整範囲は、R12(R 12)～F12(F 12)です。

3 オーディオモードボタンを押して、元のモードに戻る

スクリーンセーバー機能に切り換える

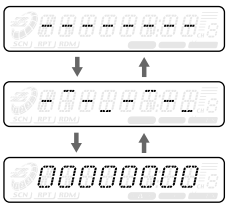
※初期設定は「ON」です。

1 バンドボタンを押しながらスクリーンセーバー(SS)ボタンを押す

→ディスプレイに「SS On」が数秒間点灯して、スクリーンセーバーがONになります。

本機の操作を何もしないで、数十秒たつと、ディスプレイはスクリーンセーバーの表示になります。

<パターン・イメージ>

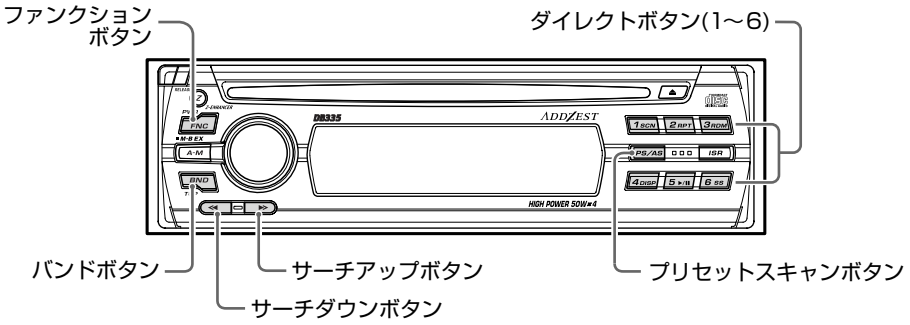


■スクリーンセーバーを解除するには…

もう一度、同じ操作をしてください。

→ディスプレイに「SS OFF」が数秒間点灯して、スクリーンセーバーがOFFになります。

ラジオを聴く



ラジオモードを選ぶ

1 ファンクションボタンを押して、ラジオモードを選ぶ

PWR
FNC

→受信バンドと受信周波数（「F1　8300」等）を表示して、ラジオモードになります。

ファンクションボタンを押すたびに、モードが次のように切り換わります。

ラジオモード ⟷ CDモード

受信バンドを切り換える

1 バンドボタンを押して、FM1、FM2またはAM1、AM2を選ぶ

BND
TOP

→バンドボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

FM1(F1)→FM2(F2)→AM1(A1)→AM2(A2)

手動選局する(マニュアル選局)

1「 MANU 」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約2秒間)

BND
TOP

→「 MANU 」が点灯すると、手動選局です。

2 サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押して、放送のあるところに合わせる

◀◀　(または)　▶▶

プリセット選局する

プリセット選局について…
あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

1 ダイレクトボタン(1～6)を押して、聴きたい放送局を選ぶ

1 SCN ～ 6 SS

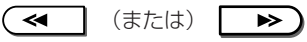
・ダイレクトボタンにメモリーするときは、「プリセットメモリーする」をご覧ください。

自動選局する(シーク選局)

1 「 MANU 」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約2秒間)

→「 MANU 」が消灯しているときは、自動選局です。

2 サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押す



→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

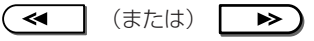
プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2の各バンドごとに6局ずつ、計24局です。

1 バンドボタンを押して、メモリーさせたいバンド(FM1(F1)、FM2(F2)またはAM1(A1)、AM2(A2))を選ぶ

2 サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ



3 メモリーさせたいダイレクトボタン(1～6)を押し続ける(約2秒間)

→受信している放送局がダイレクトボタンにメモリーされます。

自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について…

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 バンドボタンを押して、メモリーさせたいバンド(FM1、FM2またはAM1、AM2)を選ぶ

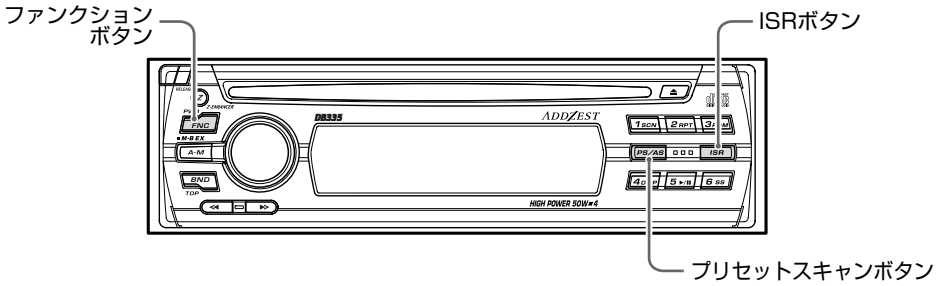
2 プリセットスキャンボタンを押し続ける(約2秒間)

→受信電波の強い放送局が、自動的にダイレクトボタン(1～6)にメモリーされます。

ご注意

- 自動メモリーすると、これまでのメモリー内容は消去されます。
- 自動メモリーは、プリセット6局のメモリーが完了するまで、順にメモリーしていきます。
- メモリーできる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻ってからメモリーします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、メモリーされなかったダイレクトボタンには、それまでのメモリーが残ります。
- すでにメモリーしている放送局を、別のダイレクトボタンにメモリーすることはありません。

ラジオを聴く



放送局を確かめる(プリセットスキャン)

1 プリセットスキャンボタンを押す

PS/AS

→プリセットメモリーされた放送局を、順に受信します。

•受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

■プリセットスキャンを解除するには…

もう一度、プリセットスキャンボタンを押してください。

特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能について…

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。
(初期設定では、AM1620kHzの交通情報がメモリーされています)

1 ISRボタンを押す

ISR

→ディスプレイに「**ISR 1620**」を表示します。

■ 元のモードに戻すには…

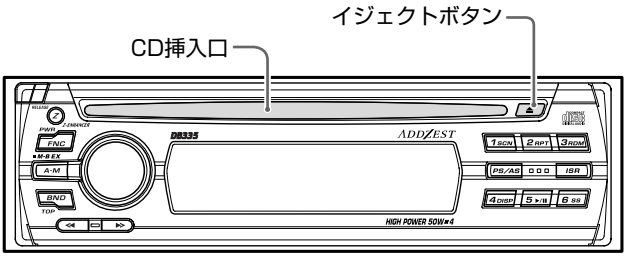
もう一度、ISRボタンまたは ファンクションボタンを押してください。

■ ISRにメモリーするには…

ラジオモードで、メモリーしたい放送局を選局し、ISRボタンを押し続けます(約2秒間)。

→ISRにメモリーされます。

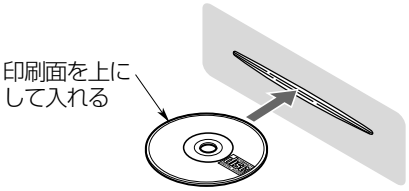
CDを聴く



CDを入れる

1 CD挿入口にCDを入れる

シングルCDのときは、CD挿入口の中央へ入れる(アダプター不要)



→「TO 1 0000」を表示し,自動的に演奏を始めます。

⚠注 意

CD挿入口に手や指を入れないでください。また異物を入れないでください。

ご注意

- すでにCDが入っている場合には、CDは入れられません。無理に入れないでください。
- 本機は COMPACT disc DIGITAL AUDIO マーク表示のあるコンパクトディスク以外はご使用になれません。
- CD-R/RWで記録されたディスクは、使用できない場合があります。

CDを取り出す

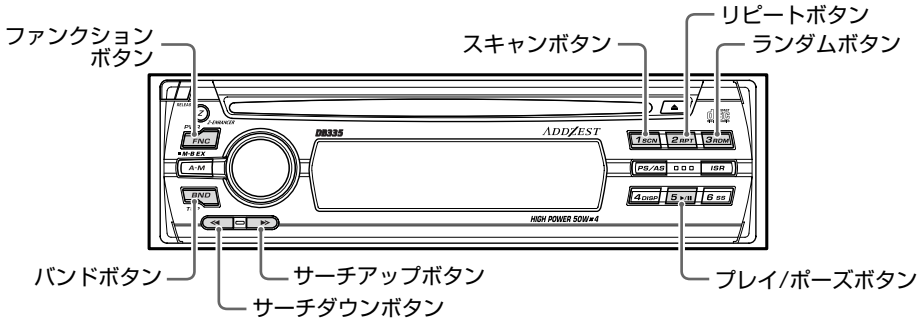
1 イジェクトボタンを押す

→CDがイジェクトされます。

ご注意

- CDをイジェクトしたままにしておくと、15秒後に本機内に引き込まれます(オートリロード)。
- オートリロード前に無理にCDを押し込むと、CDにキズがつく恐れがあります。
- シングルCDはオートリロードされません。イジェクトした場合は、シングルCDを取り出してください。

CDを聴く



すでに入っているCDを聴く

1 ファンクションボタンを押して、CDモードを選ぶ

PWR
FNC

→CDモードになると、トラックNo.(「 T-01 」等)を表示し、自動的にCDの演奏をはじめます。

•ファンクションボタンを押すたびに、モードが次のように切り換わります。

ラジオモード ⟷ CDモード

次の曲/前の曲を選ぶ

1 次の曲はサーチアップボタン、前の曲はサーチダウンボタンを押す

(前の曲) (次の曲)

◀◀ ▶▶

→押した回数だけ、先の曲または後の曲を演奏します。
サーチダウンボタンを1回押すと、演奏中の曲の頭に戻ります。

演奏を止める(一時停止)

1 プレイ／ポーズボタンを押す

5 ▶/II

→「 PAUSE 」を表示します。

■演奏を再開するには…

もう一度、プレイ／ポーズボタンを押してください。

早送り/早戻しする

1 早送りするときはサーチアップボタン、早戻しするときはサーチダウンボタンを押し続ける

(早戻し) (早送り)

◀◀ ▶▶

→1秒以上押すと5倍速で、3秒後には30倍速で、演奏曲を早送りまたは早戻しします。

最初の曲から聴く(トップ機能)

1 バンドボタンを押す

→最初の曲(トラックNo.1)から演奏します。

スキャン演奏する

スキャン演奏について…

CDに収録されている全曲を10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押す

→「 SCN 」が点灯し、スキャン演奏します。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲から始まります。

■スキャン演奏を解除するには…

もう一度、スキャンボタンを押してください。

→「 SCN 」が消灯し、通常の演奏になります。

リピート演奏する

リピート演奏について…

演奏中の1曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押す

→「 RPT 」が点灯し、リピート演奏します。

■リピート演奏を解除するには…

もう一度、リピートボタンを押してください。

→「 RPT 」が消灯し、通常の演奏になります。

ランダム演奏する

ランダム演奏について…

CDに収録されている全曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押す

→「 RDM 」が点灯し、ランダム演奏します。

■ランダム演奏を解除するには…

もう一度、ランダムボタンを押してください。

→「 RDM 」が消灯し、通常の演奏になります。

故障と思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

現　象	原　因	処　置
電源が入らない （音が出ない）	ヒューズが切れている	入っていたものと同じ容量のヒューズ（15A）と交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	配線が不完全	取付説明書をもう一度お読みになって、正しい配線にしてください。
CDがすぐ出てしまう	CDを裏表逆に入れている	CDの印刷面を上にして入れてください。
音飛びする ノイズなどが入る	CDが汚れている	CDを柔らかい布でふいてください。
	CDに大きい傷やソリがある	CDを無傷なものに交換してください。
電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。

エラー表示について

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときには、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に復帰します。

エラー表示	原　因	対処方法
ER 2	本機のCDデッキ内のCDが引っかかってイジェクトされないときの表示	引っかかる要素を取り除いてください。CDがイジェクトされない場合は、機器の故障と思われますので、お買い求め販売店にご相談ください。
ER 3	本機のCDデッキ内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
ER 6	CDデッキ内のCDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示 ブランクディスク(無録音)を入れた	CDをイジェクトし、正しく入れ直してください。 録音されているCDと交換してください。

上記対処を行っても復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕 様

■ CDプレーヤー部

周波数特性	：10Hz～20kHz±1dB
SN比	：100dB(1kHz) IHF-A
ダイナミックレンジ	：95dB(1kHz)
高調波ひずみ率	：0.01%

■ FMチューナー部

受信周波数	：76.0MHz～90.0MHz
実用感度	：11dBf
50dBクワイティング感度	：17dBf
SN比	：70dB
周波数特性	：30Hz～15kHz±3dB
分離度	：35dB(1kHz)

■ AMチューナー部

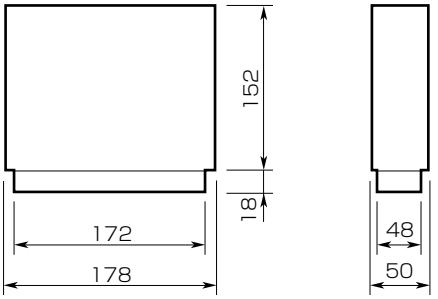
受信周波数	：522kHz～1,629kHz
実用感度	：28μV

■ オーディオ部

定格出力	：17W×4(20Hz～20kHz、1%、4Ω)
最大出力	：50W×4
トーンコントロール	
BASS	：±13dB(30Hz)
TREBLE	：±10dB(10kHz)
適合スピーカー	
インピーダンス	：4Ω(4～8Ω)

■ 共通部

電源電圧	：DC14.4V
接地方式	：マイナス接地
消費電流	：3A　1W時
ヒューズ定格	：15A
質　　量	：1.1kg
外形寸法	：178(W)×50(H)×170(D)mm [取付寸法：152(D)mm]



※これらの仕様およびデザインは、改善のため予告なく変更する場合があります。

■ 付属品

- 取扱説明書 1部
- 取付説明書 1部
- 修理相談窓口リスト 1部
- 保証書 1部
- 電源コード 1本
- サラネジ( ) 4本
- セムス六角ボルト( ) 5本

アフターサービスについて

■ 保証書

この商品には、保証書が別途添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■ 保証期間

お買い求めの日より 1 年間です。

■ 万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。

お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

クラリオン株式会社

本　　社　　〒112-0001 東京都文京区白山 5-35-2
お客様相談室　TEL. 0120-112-140 （フリーダイヤル）
（土・日・祝・祭日を除く
9：00～12：00、13：00～17：30）

ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名	
	TEL.
製 造 番 号	

お客様へ……ご購入年月日、ご購入店名を記入しておくと、お問い合わせなどのときに便利です。

Printed in Malaysia　2002/12　(C.M)　　PA-2584A　280-7883-00